

ISFJ Inter-university Seminar for the Future of Japan

ISFJ2025政策フォーラム 活動報告書

文責: 川上

【日時】

2025年12月13日(土)・14日(日)

【会場】

13日: 明治大学 和泉キャンパス

14日: 明治大学 駿河台キャンパス アカデミーホール

【参加】

25大学31分科会116チーム

【概要】

政策フォーラムは二日間に渡り、以下2点を目的として開催されました。

- ・全国の学生が立案した政策を社会に向けて広く深く発信していくこと
- ・政策や社会に対して意識の高い学生が一同に会し、問題についての知識・考え方を共有すること

【企画内容】

・1日目となる研究発表会では、問題意識の近いテーマを扱った研究班を31の分科会に分け、各教室にてプロジェクターを用いて発表を行いました。プレゼンテーションは事前に提出された最終論文にのっとり、各研究会の半年の研究の成果を披露しました。論文の事前審査で付けられた点数とプレゼンテーションの点数を合計し、分科会内で最も点数が高かった研究班に分科会賞が授与された。

・2日目は、一次論文審査・二次論文審査を通過し、特別論文審査員会議により精査され、その中でも特に優れた上位2本の研究班が明治大学のアカデミーホールにて決勝プレゼンテーションを行った。また、特別論文審査会議によって選出された上位2論文以外の論文3本に優秀賞が授与されました。

【責任者総評】

・1日目

本年度も対面開催でしたが、大きな問題もなく無事に終えることができました。これもひとえに一次審査を引き受けて下さった審査員の方々、コメンテーターの方々、協賛、後援をいただいた皆様、参加者の皆さまにご協力をいただきましたおかげでございます。専門家の方々にもご協力いただくことができ、より多角的な視点から学生の論文に対してご意見をいただけたことで学生たちにとってさらなる成長の機会になったのではないかと思います。

今年度も運営委員全員で直接集まる機会はなくオンラインで組織内、各部署同士での情報共有を行うこととなりました。政策フォーラムの日程から逆算し細かく業務の目標を立てたことにより、比較的例年より余裕をもって審査員・コメンテーターの渉外活動を行うことができました。しかし、政策フォーラムまでの日数が近くなるにつれて部署内での業務の負担が一部の人に集中するという課題があり、中間発表会から政策フォーラムまでどのように部員の当事者意識を保ちながら業務を進めていけるのかという点は課題となりました。一日目の分科会発表では事業企画部を中心に中間発表会での反省を踏まえて司会のリハーサルや準備に取り組み、運営の一人一人の業務理解が高い状態で臨むことができたので本年度の内容を次年度以降にも取り入れていければと思います。しかし、プロジェクター等の準備方法や操作方法の確認が当日任せになり、不具合により教室変更を迫られることもあったので、その点も次年度以降は確認していきたいと思います。

・2日目

本年度も対面開催でしたが、松下政経塾や埼玉県入間市市長杉島理一郎様、協賛企業の方々を始め、コメンテーターの皆様、特別審査員の皆様のご協力もあり、大きなトラブルはなく決勝プレゼンテーションを行うことができました。運営上の課題としては、入退場時のエスカレーター等の導線管理が挙げられます。本年度も昨年度と同じ会場を使用し、参加者の方々にはエスカレーターでの入場をお願いした形となりました。かなりの混雑に見舞われたため、受付の方法や入場時間については更なる検討が必要です。また、昼休憩の時間の際の会場の使い方について、当日は一般の方々もいらっしゃるため掲示物やアナウンスによって共用部の使用方法や立ち入り禁止箇所をより明確にする必要があると感じました。会の進行としては、序盤は特に問題なくスムーズな進行ができていました。しかし、午後の部の表彰でスライド不備があり、その際に会場全体を困惑させてしまったため、前日の確認をより綿密に行う必要があると感じました。本年度も、閉会後に受賞班発表時に使用したスライドを映し出したスクリーンの前で写真撮影の時間を設けました。参加学生のみならず、運営委員も達成感に満ちた様子で喜ばしい光景が見られました。

【受賞論文一覧】

○最優秀政策提言賞

行政①

大阪経済大学 岡島成治研究会

「入札制限があるオークションにおける談合行為～公共調達を用いた実証検証～」

○優秀政策提言賞

医療①

大阪経済大学 岡島成治研究会

「病院間競争が供給者誘発需要を生む構造～MRI検査データによる実証分析～」

○優秀賞

観光③

慶応義塾大学 松浦寿幸研究会

「京都市バスの処遇改善と宿泊税最適化に関する政策提言」

社会保障①

熊本県立大学 本田圭市郎研究会

「子育て世帯の時間的支援の拡充 短時間勤務制度と家事支援サービスの因果推論」

地方創生①

関西学院大学 亀田啓悟研究会

「大学の廃校が地域経済に与える影響」

○分科会賞

医療①

立命館大学 須佐大樹研究会

「地域連携は救急搬送困難事案を減らすか？—高知市消防局の指令センター共同運用を対象とした合成コントロール法による分析—」

医療②

上智大学 釜賀浩平研究会

「東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故が被災地における医師数の減少に与える影響について」

環境・エネルギー①

熊本県立大学 本田圭市郎研究会

「持続可能な廃棄処理事業の実現—因果推論に基づく収集運搬費用削減への政策提言—」

環境・エネルギー②

明治大学 末永啓一郎研究会

「ケニアの電力アクセスが貧困に与える影響と包摂的で持続可能な政策設計」

観光①

日本大学 豊福健太研究会

「インバウンド需要の獲得～企業の選択と集中～」

観光②

千葉大学 後藤剛志研究会

「民泊の増加が家賃に与える影響」

観光③

慶應義塾大学 豊福健太研究会

「DMOと描く持続可能な観光地経営～地域経済循環の実現～」

教育①

関西学院大学 栗田匡相研究会

「母親の言説と子どもの非認知能力の関連性～子どもの進路選択に与える影響～」

教育②

関西学院大学 栗田匡相研究会

「マダガスカルにおける女性の意思決定権と妊娠年齢の関係」

教育③

関西学院大学 亀田啓悟研究会

「スクリーンタイムと人的資本 大阪小中学校スマホ持込規制の緩和による因果推論」

行政①

山口大学 加藤真也研究会

「熱中症警戒アラートの実効性向上を目指して～熱中症の地域差を反映した新たなWBGT閾値の提案～」

行政②

立命館大学 須佐大樹研究会

「ふるさと納税の返礼率規制と新規参入に関する実証分析」

金融・財政①

大阪大学 大槻恒裕研究会

「NISA制度の改善」

金融・財政②

大阪大学 赤井伸郎研究会

「持続可能なブルーカーボン事業の実現に向けて」

経済産業①

同志社大学 荒渡良研究会

「エコフィード生産拡大に向けた地域政策―千葉県における増産可能性―」

経済産業②

名古屋市立大学 平賀一希研究会

「日本の事業承継税制特例措置と企業パフォーマンス―非上場企業の製造業のパネルデータを用いた実証分析に基づく生産性と制度設計の評価―」

経済産業③

大阪大学 赤井伸郎研究会

「中小企業の事業承継支援の方向性

―地域特性を踏まえた支援体制の構築に向けて―」

国際

明治大学 末永啓一郎研究会

「ケニア・モンバサ港における港湾効率化政策」

社会保障①

明治大学 山田知明研究会

「男性も含めた子育て支援に注目した少子化対策」

社会保障②

慶應義塾大学 土居丈朗研究会

「介護人材不足解消を目指して 需給ギャップ縮小の定量的検証」

地方創生①

慶應義塾大学 豊福建太研究会

「事業承継ファンドと経営人材派遣の有効性 地方銀行の事業承継支援効果の実証分析に基づく政策提言」

地方創生②

慶應義塾大学 松浦寿幸研究会

「周辺アジア諸国からの国際線誘致による 地方インバウンド需要の創出」

都市交通①

山口大学 加藤真也研究会

「高速自動車国道の交通渋滞解消に向けてー東京湾アクアラインのロードプライシング制度導入から見たアプローチー」

都市交通②

千葉大学 後藤剛志研究会

「水道事業の持続可能性と更新費用に関する検討」

都市交通③

慶應義塾大学 松浦寿幸研究会

「高齢運転者の免許返納促進に向けた実証分析と政策提言」

農林水産①

明治大学 千田亮吉研究会

「食品ロス解消に向けて」

農林水産②

関西学院大学 栗田匡相研究会

「リスクシェアリングが農業技術導入に与える影響」

労働雇用①

創価大学 金澤伸幸研究会

「女性の活躍推進のためにー男性の育児休業制度から考えるー」

労働雇用②

関西学院大学 栗田匡相研究会

「マダガスカル農村部における労働移動選択の構造的要因～農村間移動と都市移動の選択メカニズムの実証研究～」

労働雇用③

青山学院大学 安井健悟研究会

「リモートワーク導入による雇用形態別の介護離職抑制効果」

労働雇用④

千葉大学 大石亜希子研究会

「ハイブリッドワークを活用した多様な働き方の実現に向けて」